



■ 祖父母学級を開催しました

9月12日(土)祖父母学級を開催したところ、たくさんの祖父母のみなさんに参観していただきありがとうございました。

私自身、おそらく児童の父母より祖父母の年齢に近く、まだ孫はおりませんが、祖父母の皆様と同じような気持ちで一日を過ごさせていただきました。

子どもたちも、学校に来校されたおじいちゃんやおばあちゃんの顔を見つけて大喜びでした。

21日月曜日は敬老の日です。ご家庭でも良い思い出づくりをお願いします。



夏休み作品展(1)



4年 野本 輝 さんの作品



3年 川添 吏都 さんの作品



3年 碓井 己織 さんの作品



4年 久岡 翔太 さんの作品

■ 中学生が、職場体験学習に来ました。

9月10日～12日の3日間、夜須中学校の2年生が本校で職場体験学習をおこないました。

職場体験学習は、子どもたちを取り巻く就職や進学についての環境が大きく変化している中で、働くことに対する意識が希薄なまま大人になる若者が増えているという、我が国全体の課題を克服するため、早い時期からさまざまな職場で社会体験をおこない、働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを学び、勤労観や職業観を育むことを目的としておこなわれています。



中牟田小では、10名の夜須中生が体験学習をおこないました。

● 中学生の感想

ぼくはこの職場体験学習で多くのことを学びました。特に先生たちが授業を工夫してあるところや、授業前に念入りに準備をしてあるところがすごいなーと思いました。

また、1年生ならば1年生にわかる授業。6年生ならば6年生がわかる授業をしてあり、先生の立場になって初めてわかったことがたくさんありました。例えば、29人の子どもがいると、その一人ひとりみんなに違う特徴があり、良いところや悪いところをしっかりと見極め、良いところはたくさんほめて伸ばし、悪いところはきちんと注意して指導してあり、とても感動しました。この体験を通し自分自身も成長していきたいと思いました。

■ 全国学力・学習状況調査 調査結果について（その1：学習面）

4月21日に、6年生を対象とした全国学力・学習状況調査を実施しました。

この調査の目的は、文部科学省や教育委員会が教育施策の成果や課題を検証し、その改善に役立てることですが、学校ではこの調査結果を活用して、学習指導方法の工夫と改善を図りたいと考えています。調査結果から見える本校の児童の状況についてお知らせします。

1、国語の学力調査の結果から（平均値からの考察）

国語の調査結果では、基礎的な内容、応用的な内容とも、平均正答率は県や全国の正答率と比べて高い結果が出ています。基礎的な内容の「書くこと」の分野にやや課題が見られますので、漢字の書き取りなどを丁寧に、正確におこなわせていくことが求められています。今後も基礎的な問題に対してだけでなく、応用的な問題に対しても力を入れていきたいと思います。

2、算数の学力調査の結果から（平均値からの考察）

算数の調査結果では、基礎的な内容、応用的な内容とも平均正答率は県や全国の正答率と比べて高い結果が出ています。内容的には、基礎的な内容に比べ、やや、応用的な内容についての正答率が低いので、難解な問題にもあきらめずチャレンジしていく態度や、自ら学ぶ姿勢を育てたいと考えています。

※やしろうさんは中牟田小ホームページにもカラーで掲載しています。